

GLOBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

グローバルマインド

発行/(学)大阪国際学園企画広報課
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57
TEL.06(6902)0787(代)
FAX.06(6902)8961
Eメール koho@oiu.ac.jp
http://www.globalmind.jp/

CONTENTS

- 卒業生対象にキャリア相談室を梅田に開設 (2面)
- ヤル気が出た! 学生チャレンジ制度報告 (4面)
- ひとへヘッドスピニング記録保持者 大野愛地さん (8面)

大阪国際大学(OIU) 枚方キャンパス TEL.072(858)1616(代)
守口キャンパス TEL.06(6902)0791(代)
大阪国際大学短期大学部(OIC) TEL.06(6902)0791(代)
大阪国際滝井高等学校(OITH) TEL.06(6996)5691(代)
大阪国際大和田高等学校(OIOH) TEL.06(6904)1118(代)
中学校(OIOJ)
大阪国際大和田幼稚園(OIOK) TEL.06(6902)7329(代)

独白

大阪国際学園
理事長 奥田吾朗

「歴史に学ぶ」

中高の先生方と話して、歴史が苦手な生徒が多い、というのが少し気になる。私もその口で、偉そうなことはいえないが、「歴史に学ぶ」大切さをつくづく感じている。平家物語を引き合いに出すまでもないが、「栄枯盛衰」をいまの日本で真剣に考えないといけないのではないだろうか。5年ほど前、タイへ旅して、その発展ぶりに目を見張ったのを思い出す。最近、中国や東南アジアへ行った人たちの話を聞いても、それぞれの国が、世界に目を開いていることへの驚きが伝わってくる。大学を含め、教育機関や市民レベルで国際性が色濃く根付いているというのだ。ふり返って、わが日本はどうだろうか。アメリカに次ぐ経済力に誇りを持った時も確かにあった。だが、わが大学も含めて、どれだけ、世界へ目を向けているだろうか。東大を頂点とする学力競争も国内だけの競争にとどまっているような気がする。舵取りは、政府に任せたいが、私たち国民にもやることがある。自らの存亡のために、意識を変革させてゆくことだ。周りの国を見て自国を見れば何が見えるか。東南アジアなど近隣諸国に目を向け学ぶ。その姿勢で子どもたちを育ててゆく。そうすれば、きっと「歴史」がアドバイザーしてくれるはずである。

大阪国際大和田中学校・高等学校 廣川 弘光 新校長就任



大和田中・高校の奥田三郎校長が9月30日付で退任。新校長に廣川弘光氏が就任した。

略歴

昭和42年 関西大学大学院修士課程修了。
守口市教育委員会教育研究所長、同指導部長、
守口市立第四中学校校長、同第一中学校校長



守口キャンパスセンター(6号館1階)

『学生が利用しやすい窓口へキャンパスセンターを創設』

大学・短大に9月から「キャンパスセンター」ができました。今春から学生の利便性を向上するために進めている事務局組織の再編の一環で、学生支援窓口の一本化です。

今回の組織再編の基本方針は、1. 学生サービス部門の強化 2. 大学短大の企画機能強化 3. 管理部門の効率化であります。キャンパスセンターは、学生サービス部門強化策の一つで、併せて分散して配置されていた事務室・準備室を講義室等に転用することで、学習環境をより充実したものにしました。

主な組織再編は① 学生課・教務課・学部事務室機能を統合し「キャンパスセンター」に業務に「インターンシップ」推進機能と「キャリア教育」機能を加えて学生が立ち寄りやすい環境の「キャリアセンター」

② 国際交流課がキャンパスセンターの同じ事務室内に移転することによる留学生の利便性向上 ④ 財務課と会計課を統合して「財務会計課」に等あります。また、これに伴って事務室を再配置し、守口キャンパスセンターは、6号館1階(学生サポート、教学サポート、国際交流課)と4号館2階(教職サポート)に配置し、枚方キャンパスセンターは、1号館2階(正面玄関横)の事務局に学生サポート、教職サポート、国際交流課を集結しました。

これらグループを配置している「キャンパスセンター」は、文字通り、「学生のキャンパス生活における相談窓口」として機能できるよう、二カ所で学生向け支援業務を完結できるように配置しており、ほとんどの案件がこの「キャンパスセンター」で処理できるようになりました。

③ 国際交流課がキャンパスセンターの同じ事務室内に移転することによる留学生の利便性向上 ④ 財務課と会計課を統合して「財務会計課」に等あります。また、これに伴って事務室を再配置し、守口キャンパスセンターは、6号館1階(学生サポート、教学サポート、国際交流課)と4号館2階(教職サポート)に配置し、枚方キャンパスセンターは、1号館2階(正面玄関横)の事務局に学生サポート、教職サポート、国際交流課を集結しました。

① 学生課・教務課・学部事務室機能を統合し「キャンパスセンター」に業務に「インターンシップ」推進機能と「キャリア教育」機能を加えて学生が立ち寄りやすい環境の「キャリアセンター」

② 国際交流課がキャンパスセンターの同じ事務室内に移転することによる留学生の利便性向上 ④ 財務課と会計課を統合して「財務会計課」に等あります。また、これに伴って事務室を再配置し、守口キャンパスセンターは、6号館1階(学生サポート、教学サポート、国際交流課)と4号館2階(教職サポート)に配置し、枚方キャンパスセンターは、1号館2階(正面玄関横)の事務局に学生サポート、教職サポート、国際交流課を集結しました。

これらグループを配置している「キャンパスセンター」は、文字通り、「学生のキャンパス生活における相談窓口」として機能できるよう、二カ所で学生向け支援業務を完結できるように配置しており、ほとんどの案件がこの「キャンパスセンター」で処理できるようになりました。

(大学・短大) 事務局次長 吉田 達夫

(大学・短大) キャリアセンター課長 定國 通雄

生まれ変わったキャリアセンター 大学・短大 支援体制も充実



キャリアセンター(枚方キャンパス)

本学では今年度よりキャリアセンターの機能を強化するため株式会社関西西屋用創出機構と業務委託契約を締結いたしました。5月より従来のキャリアセンターの中にキャリアプラザを設置し、関西西屋用創出機構のリソースを活用して、各種

業界のアドバイザーと専門的なキャリアカウンセリングを展開することにより学生の就職活動をサポートしてまいりました。そして、9月からは就職支援体制を万全とすべく関西西屋用創出機構から派遣されるキャリアカウンセラーも守口キャンパスは3名、枚方キャンパスは2名に増員し、別途、週3日異なる業界のアドバイザーが来学して学生の指導に当たっています。また、キャリアセンターの事務室も一新し、守口キャンパスでは本館2階へ移ることにより従来の約1.5倍の広さとなりました。枚方キャンパスも場所は変わりませんが、部屋も広くなり、ゆったりとしたスペースでキャリアセンターの指導の特徴である個別面談が実施できるようになりました。

り組み「就職に強い大学」「面倒見のいい大学」を目指します。

当然ながら、就職関連の行事も充実を図り、キャリアセンターが従来から実施していた行事に加え、両キャンパスに開設されたキャリアセンターの多目的ルームで週に3日(2回/日)開講される業界セミナーの他、職業観醸成セミナーや対話トレーニング、模擬面接など今まで以上に学生の就職活動のサポートに取



キャリアセンター(守口キャンパス)

枚方キャンパスセンター(1号館2階)

国際大・短大 ホームページで紹介

入試・広報部 あなたの疑問にお答えします

新学部紹介や進学説明会 保護者、高校先生の質問に回答

大阪国際大学・大阪国際大学短期大学の入学情報のホームページ(II写真)では、受験生をはじめ、本学に興味を持ってくださった方々に役立つ情報の提供に努めています。

来年度開設の新学部・新学科情報、入学選考詳細、進学説明会日程、オープンキャンパスなどのイベント詳細、卒業生紹介、在学生へのサポート体制を含めたキャンパスライフなどについてお知らせしています。

その中でもお薦めなのが、疑問・質問を受け付ける「あなたの疑問にお答えします」、在学生がキャンパスライフについて書き上げている「在学生の心音日記@ほんわか」、入試・広報部員が書き上げている「入試・広報部のつぶやき」の3コーナーです。

「お答えします」のコーナーでは、高校生やその保護者、高校の先生などからの様々な質問に回答をさせていただいています。海外から、帰国生徒入試や留学生入試についてのご質問をいただくこともあるんです。

頻度の高いご質問については、大短パンフレットのQ&Aコーナーでもご紹介しています。「心音日記@ほんわか」では有志の在学生の協力のもと、卒業生の方にとっては学生生活

を提供を心掛けています。今後は、携帯サイトの設置や、高校生向けの入試に役立つ情報をより充実させつつ、卒業生や外部の方々からも何度でもアクセスしていただけるようなサイトを目指していきたいと思っています。

「つぶやき」では、本学のことを楽しく知っていただけるように、入試のことだけではない様々な視点からの新鮮な情報

卒業生の就業支援へ「キャリア相談室」開設

大阪・梅田 無料でサポート

現在、四年制大学卒業後3年間で企業などに就職した30%強が離職するといわれており、今や、社会問題化しています。本学でも残念ながら、転職の相談に来る卒業生や離職者に既卒の求人を紹介するケースも増えており、実際仕事した仕事

が自分の意思との違いや人間関係の難しさに戸惑い離職する数は少なくはないと思われ

ます。

本学ではこうした現状を踏まえ、卒業生の就業支援のために、梅田にある株式会社関西西雇用創

出機構のオフィスに本学の卒業生専用の「キャリア相談室」を開設いたしました。本学の卒業生ならば、年齢、性別を問わず無料で相談や就職斡旋などのサポートを受けることが出来ます。

既に10月からサービスは開始していますが、受付や登録の手続き方法、カウンセリング、求人紹介等の具体的なサービス内容については大学のホームページ(<http://www.oia.ac.jp/oiu.htm>)を参照ください。

以前とは違い、ワークキャリア



奥田政三教育。 研究員 藤原 雅子

大学・短大

長期派遣交換留学「カナダ・北リテリシニコロンビア大学」(9月～19年12月)田 逢登(国コミ3)「中国・四川大学」(9月～20年7月)谷藤晴生(経情2)

「中国・東北大学(同)」元船学▽坂本 健(以上法政経2)「中国・遼寧師範大学(同)」橋本真梨子▽吉村侑華(以上国コミ2)

「中国・香港中文大学」(8月～20年4月)南山美紀(国コミ2)

「台湾・中国文化大学(同)」齋藤珠季(国コミ2)▽廣瀬一憲(法政経2)

短期海外研修「豪・クイーン

ズランド・インターナショナル・ビジネス・アカデミー英語研修(8月25日～9月15日)河合美保子(心コミ4)▽松井亜由子▽高見侑里▽横江千里▽西口 愛(以上国コミ3)▽田中 剛▽森元美也子(以上国コミ2)▽藤原裕梨英▽川西 梓▽大東佑輔(以上国コミ1)▽西下良二(法政経3)「日本語教員アシスタント研修・モンゴル第93学校」(8月27日～9月16日)柴田智子(スボ行4)

経営情報学部学科研修「米・ロスアンゼルス」(8月31日～9月6日)片桐隆司▽片岡達希▽大塚一馬▽長谷川拓哉▽石川広明(以上4)▽市村美沙子▽辰巳しおり(以上3)▽水戸勇佑(2)

直言

私が、生を受けた昭和20年、我が国はその年の8月に終戦を迎えました。その後、廃墟の中から目覚ましい復興を遂げ、高度経済成長期を経て、経済大国・日本としての国際的地位を築き上げてまいりました。

しかし、今の我が国の世情は、物質的豊かさには、心の豊かさが問われております。昨今の、親子間の痛ましい殺傷事件やいじめの原因とする児童・生徒の自殺、また、高齢者や障害のある方までを標的にした悪質商法などの報道に触れるたびに、私は、現代日本人のモラルの低下、心の歪みに非常に憂いを禁じ得ません。

戦後、一度見つけたものを失ったのか、今一度見つめ直さなければ、更なる心の荒廃を招き、日本の未来が危ぶまれます。確かに、戦争の痛手を乗り越え、世界に冠たる経済・文化の発展を遂げておりますが、反面、経済至上主義の中で、私たちは、一思いやり



再生日本人の心

守口市長 西口 勇

「心」慈しみの心「自分を律する心」「ものあわれみ」卑怯を憎む心「日本人が美德としていた心」をいっしょに置き去りにしてきたと思いませんか。日本人が日本人たる精神を取り戻すこと、子どもや高齢者などの社会的弱者に安全で安心な生活環境をもち、それが、社会全体の安定に繋がります。ひいては国際社会において、信頼と尊敬を得る

「心」慈しみの心「自分を律する心」「ものあわれみ」卑怯を憎む心、正義を貫き、勇気と忍耐を持ち、弱きを憐れむ心などを7か条の「心の掟」にし、最後を「ならぬことはいまぬこと」という言葉で結んでまいりましたが、この毅然とした教えの不足が、現代社会における「いじめ」問題の原因のひとつにあるのではないかと考えております。

幕末に、開国を求めた来航してきた欧米列強は、日本人の教養や精神の高さに非常に感銘したと言われておりますが、その精神こそが武士道精神であります。社会規範は時代によって変遷することもありますが、武士道精神は人が持たねばならない普遍的な道徳観念に通じるが故、「待」を描いた映画が海外でも共感を呼ぶように、今日も武士道精神を備えた人は、世界にアビールできるのです。

私は、今こそ、真の知的人間性を確立するためには、我が国で連綿と続く武士道の精神を活かし、日本人としての心を再生することであると強く信じております。

留学・研修レポート

接客サービスの違い痛感 アメリカでの海外事情研修

大阪国際大学 経営情報学部経営情報科 3年次生 辰巳 しおり

夏休みを利用し、約1週間アメリカ海外事情研修に行きました。この研修は、アメリカの流通業、サービス業を調査・研究するというものです。アメリカと日本では、接客やサービスの方法、人間性、文化など様々な違いがありました。

1つの会社やお店を見学できる時間はごくわずかなため、自分から積極的にアメリカの人やサービスに触れるよう努めました。

私にとって印象が強かったのが、日本との接客サービスの違いです。私は主に洋服店へ入ることが多かったのですが、日本の販売員とは違い、商品を見ているお客様に声をかける様子はほとんど見られませんでした。しかし、決して冷たい態度を取るといってではなく、こちらから声をかけると明るく対応してくれ、商品の説明も丁寧してくれました。

皆さんが買い物に出かけた時、あまり買う気ではなかったものを店員の口車に乗せられてつい買ってしまい後悔した、という経験はないですか?それは接客ではなく、商品の押し付けだと思っております。アメリカではそんな接客は一度も受けませんでした。これこそ本当にお客様のことを考えたサービスではないか、と私は思いました。

このようにアメリカと日本の違いを学びたい方は、実際に海外研修に行って自分の目で、自分の耳で体感してみてください。もちろん、ただ純粋に海外に興味があるという方にもお薦めします。

他国の文化に触れるだけでも世界観が変わるはず。 (2007年8月31日から9月6日まで経営情報学部海外事情研修に参加)

ホームステイを通して 家族関係などを習得

大阪国際大学 留学生別科 ベイトマン・ジェイコブ

私はニュージーランドのクライストチャーチから来たベイトマン・ジェイコブと申します。私は最初に日本へ来た時、人込みの多さに驚きました。その前に1度だけ日本に来たことがありますが、その時は現在ほど驚きませんでした。私は今、大阪に住んでいますが、大阪に住んでいる人数は本当に多いと思います。

最初に住んでいたホームステイ先の家族は、子供が4人いて家が密集した地域に住んでいました。それは僕の母国であるニュージーランドとちよっと違います。ニュージーランドでは、普通、家と家の間隔は狭くない。だから皆は、のびのび生活しています。

でもそのホームステイ先の人達は皆親切な人だからどんな狭い家に住んでも、とても仲良く幸せな生活を送ることが出来るということを学びました。

さらに、ホームステイ先の人と一緒に住んでいるおかげで関西弁とカラオケはもちろん、日本の家族関係と考え方も勉強になりました。

ニュージーランドと比べて、大学の授業は全部日本語で受けるので最初は難しかったのですが、すぐ慣れてきました。さらに、先生は、いつも授業を盛り上げてくれるので色んな国から来た留学生がリラックスして勉強することが出来ます。そのため、皆自分の国の事について喋りたくなるので、日本以外の国の事についても勉強することが出来ます。このようなことは、本当に国際的な授業だと感じます。

前期に大学のテニスサークルに入ることが出来ました。その時に僕はあまり日本語が話せなかったのに、皆はやさしくテニスのことを教えてくれました。夏休みの間にそのサークルの合宿へ行って、一週間の間に一緒にテニスをやったり、海水浴したり、たくさんさんのバツゲームをしたりしました。その上、毎日たくさんさんの日本語を学べました。こんなに楽しい経験は初めてのことでした。

日本へ来てから思ったより、たくさんさんのことを学んだ。今からもっと勉強できるように頑張ります。 (2007年4月から2008年2月まで本学留学生別科生に在籍)



2008年の国際大・短大公開講座

Table with 5 columns: 日時, タイトル, テーマ・講師(敬称略), 場所, 主催. Lists various public lectures for 2008.

実施済みの公開講座・講演会

Table with 5 columns: 日時, タイトル, テーマ・講師(敬称略), 場所, 主催. Lists completed public lectures and seminars.

奥田メモリアルホールで開催された本フェスティバルには、イベント趣旨に賛同し24社の企業が後援団体として協賛いただいている。

第1級の芸に酔い、爆笑 21回 奥田メモリアルフェス 近隣住民、今年も招待



会場を酔わせた上方落語四天王の桂 春團治

桂春團治「落語会」

奥田メモリアルフェスでは、開かれた学園づくり、地域交流プログラムの一環として、日ごろ大学キャンパスに足を運ぶ機会の少ない一般市民を招き、文化・芸術イベントを愉しんでいただくことを企画された。

の方のほか、多数応募された一般の方から抽選で420名計800名を無料で招待した。出演者と演目は桂 春團治「高尾」、桂 小春團治「ちりとてちん」、笑福亭 伯枝「ん廻し」、桂 春菜「七段目」、笑福亭 喬若「動物園」。

今回の企画は、「上方落語の四天王」の一人である桂春團治(三代目)が、若手落語家を引き連れた落語会。近隣住民



健康教室10周年記念パーティー

この健康教室は、当時人間科学部人間健康科学科の学生だった上田加奈子さん(1999年卒業、関西医科大学健康科学センター勤務)が、卒業研究で生活習慣病に関する運動療法をテーマに取り上げたことがきっかけ。地域住民を対象に1998年にスタート。リピー

なケアを行ってきた。会は奥田吾朗学長の祝辞の後、この教室の生みの親である上田さんの音頭で乾杯。東山武田病院生活習慣病センター、健康運動指導科の今井 優氏、この教室の参加者代表で芝本テル氏が祝辞を述べた。

参加した幼稚園児は、守口市立とうこう幼稚園、旭清水幼稚園、千寿幼稚園の4園。5歳児クラスを中心に146人。地元老人会からは、おてだま、独楽、けん玉などの「こどもあそびやさん」が披露された。高校生に手を引かれて「あそびやさん」にやってきました園児たちは、おじいさんおばあさんに教えられながら、真剣に取り

読み、高校生も「この独楽、かわいい!」「おじいさん、おもしろい!」とすぐに親しくなっていた。「園児の」かわいい様子を見せてもらいました。高校生は、おてだまを触ったこともない子もいるんですね」と、同くらぶの立野文子さん。

「写真」している。これを目にした一般市民が読売新聞に投稿、10月27日付け読者のページ「清流」に取り上げられた。「清掃活動を行う女子高生に感謝」と題し投稿されたのは、近隣で理容業の方。お客さんとの会話の中で、「最近、付近の道はごみが少なくなった

健康教室 懐かしい顔、再会を喜ぶ スポーツ行動 佐々木研究室 体操、余興でクイズ

「たきい ふれあい まつり」 幼稚園児や老人会員を招き 滝井高

科幼児保育進学コースの学習の一環として、近隣の4幼稚園の園児と、今年をはじめ地元老人会「馬場2びよびよくらぶ」(関克彦会長)を招き、「たきい ふれあい まつり」を開催した。

また、元小学校教師で、「創作和紙人形 紙わらべ」歴20年の師範で小西幸子さんが、昭和初期の子供の様子を和紙だけで作った人形を展示。焼き餅や金魚すくいなど小物にまで細かくリアルな仕上がりになり、園児たちも高校生も釘付け。「自分も作ってみたい」と思っ、小西さんとお話するうち、家が近所なことがわかり話が盛り上がりました」と宮野愛理さん(3年)。

「紙芝居」「大縄跳び」「手遊び」や器楽演奏などを楽しんだり、リズム体操でも園児達と触れあった。今後、幼稚園児の先生を目指す彼女たちにとっても、貴重な経験の場となった。

「Global Mind ファンクラブ」がオンエア FM HANAKO

幼種園児や老人会員を招き 滝井高

栄養士関連施設、来春に着工 守口キャンパス

「Global Mind ファンクラブ」がオンエア FM HANAKO

個人出品 第31回こども絵画コンクール

第44回大阪府(歯の保健) 図画・ポスターコンクール

「Global Mind ファンクラブ」がオンエア FM HANAKO

「Global Mind ファンクラブ」がオンエア FM HANAKO

「ヤル気」が実った!

今年で第3回目となった大学・短大のChallenge The Global Mind(学生チャレンジ制度)。

11企画の応募があり、書類審査、プレゼンテーション審査を経て、4企画が採択され、奨励金が授与された。

第3回学生チャレンジ制度



Water Kids Club。ラフティング体験を通して川の危険性を学ぶ子どもたち

児童に川遊び通し 危険と楽しさ伝授

「川は危険だから近づかないように!」と言われてきた子どもたちが、本当の意味での川の危険を知らないまま成長することを懸念し、安全意識を身につけながら、川で遊ぶという企画を実施した。8月26日当日、参加した小学生たちは、保津川でのラフティングや飛び込み、流れの中で泳ぐ体験など、川での遊びを満喫すると同時に、水辺での安全な遊び方、やってはいけない事を学習。環境講習会

は、劇と紙芝居で、子どもたちにわかりやすく工夫した。後日行ったアンケートによると、「夏休み最後の良い思い出ができた」「川は楽しいけれど、大人と行かないとダメと言う事が分かった」などの回答を得た。また、「来年も続けて欲しい」と、保護者からも高い評価を受けた。

代表の原田友春さん(心理コミ4)は、「ボランティアの確

保や他団体との調整など困難にも直面したが、みんなで一つのものを作り上げていく喜びや、責任感の重要性を非常に強く感じる事が出来た」と振り返る。

若者の姿、自然描写を映像に

「I and A」人間科学部国際コミュニケーション学科 4年次生 小林 旦

卒業論文のテーマを「ビートニクと現代を生きる若者」とし、若者の姿を考察している小林さん。「人生のうち最も自由で多くを学ぶことができ、自分自身の考えも確立されつつある大学時代に、自分なりの考えを表現し、形に残したいと思った。」

この制度には、2度目のチャレンジで採択となった。

映画のタイトルは、「I and A」。由来は、「Ice cream and Apple pie」I and Anotherで、「甘いものだらけの飽和状態の現代に存在する若者が、友人との旅の中での会話やありふれた日常から未来へ前進する力を身につけていくストーリー」。作品は、



自主制作映画「I and A」撮影時の1コマ

苦勞を知った。今まで以上にクラブ間の結束が深まり、学生生活最後の夏休みの思い出が出来たと思う。誰か一人でもサボれば、全く前に進まないという、責任感の重要性を非常に強く感じる事が出来た」と振り返る。

「映像作りは、完全な初心者だったため、日々手探りで勉強の毎日でした。人集め、スケジュール管理などが一番大変でした」という小林さんだが、等身大の若者の姿や自然描写などを美しい映像に仕上げた。

「情熱を持って何かに取り組むという事は、自分自身に対して純粋に正直になれると思う。これは人が成長するための、良い活性剤になると感じた。私の

企画や活動を見て、考えるだけでなく行動に移すことの大事さが伝わる嬉しそうです。」

「サマースクール」スポーツ行動学有志グループ会(世戸俊男ゼミ、協力ボランティア研究会)

夏休み期間中に、地元の小中学生を対象に行ってきた「サマースクール」は、今年で5年目。地域の子どもたちと大学生の交流の場として、毎年好評で、保護者からも継続を希望する声が多い。今年も、主催がスポーツ行動学とあって、学科の特性を生かし、スポーツの楽しさを伝えたいという思いも加わった。

「参加してくれた子どもたちをいかに楽しませてあげられるか、プログラムの内容や計画の理想をどこまで現実近づけることができるかを、企画初体験の学生が主体となって作り上げていくことは本当に大変で、た

いるのが、前二著と比べた本書の特徴である。

たとえば、本書中最も力の籠もった第二章においては、シュミットの国家概念がヴァイマル期、ナチス期、戦後の三期に区分され、それぞれが、国家の時代、グロス・ラウムの時代、ノモスの時代と名付けられ、その間におけるシュミット

くさんの方々の協力を得て、実行することができました。どんなに疲れていても、毎朝目を輝かせて楽しみにやってくる子どもたちの笑顔を見ると、元気が出ました」と振り返る。

企画実施は、8月16日から19日。1年生から6年生までの小学生50人余を迎え、スタディータイム、流しそうめん大会、様々なスポーツなどで、有意義な4日間を過ごした。

「一度自分たちで決めたことを全力でやりとげることの大切さを今、感じています。『責任をもって動き、人を動かす』多くの学びがありました」と一同実感している。

代表の美濃岡尚子さん(3年次生)は、「国際大をもっと広く知ってほしい」と思い、また、元アナウンサーの長澤先生がいらっしゃるの、勉強するチャンスだと思った。それにラジオ放送の実践の舞台から、ジャーナリズムを学びたかったということもあります」と述べる。

「CM制作」長澤ゼミ(人間科学部心理コミュニケーション学科)

心理コミュニケーション学科 長澤彰彦教授のゼミ生が国際大のラジオCMを考え自ら制作。完成したCMは、コミュニケーションFM局(FM HANAKO 88.5MHz)で、11月1日から翌年1月31日までの3ヵ月間、月曜日から金曜日の21時59分より40秒間放送されている。内容は週替わり。



サマースクール。流しそうめんに子どもたちは大はしゃぎ

上3)▽片岡美亜▽久禮真由美▽霜田拓也(以上4)

▼同 国際コミュニケーション学科 于 卿煥▽土屋敬史(以上2)▽柿迫春佳▽李 穎(以上3)▽松田千絵▽吉原和人(以上4)

▼同 人間健康科学科 櫛野友希▽劉 顕華(以上2)▽岡田さやか▽松本幸子(以上3)▽石野友理▽古田智美(以上4)

▼同 スポーツ行動学 古川 絵梨▽吉崎菜央(以上2)▽砂取優奈▽則本やよい(以上3)▽小川紗織▽宮下由紀(以上4)

▼短大 家政科 久留田貴▽入矢菜摘(以上2)

▼同 幼児保育学科 坂井美穂▽中角有花▽原佑理恵(以上2)

▼同 国際文化学科 周防波華▽山本侑加▽若月陽菜(以上2)

内容は、学生生活のこと、地域交流のことなど様々。「みんなでCMを企画し、内容を考え、コメントを考え、自分たちで喋るのですから、それは楽しい。自分たちの声がラジオから流れているのを聞いた時は、うれしくてうれしくて。」

今後は、学園提供番組「Global Mindファンクラブ」の企画・出演や、大学のイベント時にスタジオを作って、そこから放送したり、いろんなことにチャレンジしたい」と、次への意欲を燃やしている。

「シユミット」ともに思考することによって、シユミットに抵抗していく(10頁)という方法が、本書にもまた当てはまる所以である。

ここは書評の場であって人物評の場ではないが、最後に敢えて、同僚の目から見た著者の人柄に触れておきたい。絶え間ない研鑽が着実に成果に結実する研究者はそう多くはないが、著者はその稀な実例である。私はその秘密は真理に対する著者の謙虚な態度にあると思う。著者は既に研究者として大家でありながら、私などに対しては常に質問を怠らない。それは本書における先行研究の丹念なフォローからも窺えるところである。人は自分が真理の高みに到達したと錯覚した時に随々始めると、真理探究における著者の誠実な態度が、あとがきで予告しているマリタン研究においても豊かな成果を生み出すことを確信してやまない。

(法政経学部教授 山本 周次)

うしてついかめ」国コミ教授 宮崎哲也著 PHP研究所 1,300円

○「Essays on English Literary Discourse: Medieval and Modern」国コミ教授 菊池繁夫著 Philology Association (University of Belgrade) EADRCO

◆CD

国際大・短大

○「手あそび百科 歌+カラビアン」幼保教授 植田光子 編者 fontec 6,000円

「川は危険だから近づかないように!」と言われてきた子どもたちが、本当の意味での川の危険を知らないまま成長することを懸念し、安全意識を身につけながら、川で遊ぶという企画を実施した。8月26日当日、参加した小学生たちは、保津川でのラフティングや飛び込み、流れの中で泳ぐ体験など、川での遊びを満喫すると同時に、水辺での安全な遊び方、やってはいけない事を学習。環境講習会

は、劇と紙芝居で、子どもたちにわかりやすく工夫した。後日行ったアンケートによると、「夏休み最後の良い思い出ができた」「川は楽しいけれど、大人と行かないとダメと言う事が分かった」などの回答を得た。また、「来年も続けて欲しい」と、保護者からも高い評価を受けた。

代表の原田友春さん(心理コミ4)は、「ボランティアの確

保や他団体との調整など困難にも直面したが、みんなで一つのものを作り上げていく喜びや、責任感の重要性を非常に強く感じる事が出来た」と振り返る。

「映像作りは、完全な初心者だったため、日々手探りで勉強の毎日でした。人集め、スケジュール管理などが一番大変でした」という小林さんだが、等身大の若者の姿や自然描写などを美しい映像に仕上げた。

「情熱を持って何かに取り組むという事は、自分自身に対して純粋に正直になれると思う。これは人が成長するための、良い活性剤になると感じた。私の

企画や活動を見て、考えるだけでなく行動に移すことの大事さが伝わる嬉しそうです。」

「サマースクール」スポーツ行動学有志グループ会(世戸俊男ゼミ、協力ボランティア研究会)

夏休み期間中に、地元の小中学生を対象に行ってきた「サマースクール」は、今年で5年目。地域の子どもたちと大学生の交流の場として、毎年好評で、保護者からも継続を希望する声が多い。今年も、主催がスポーツ行動学とあって、学科の特性を生かし、スポーツの楽しさを伝えたいという思いも加わった。

「参加してくれた子どもたちをいかに楽しませてあげられるか、プログラムの内容や計画の理想をどこまで現実近づけることができるかを、企画初体験の学生が主体となって作り上げていくことは本当に大変で、た

いるのが、前二著と比べた本書の特徴である。

たとえば、本書中最も力の籠もった第二章においては、シュミットの国家概念がヴァイマル期、ナチス期、戦後の三期に区分され、それぞれが、国家の時代、グロス・ラウムの時代、ノモスの時代と名付けられ、その間におけるシュミット

くさんの方々の協力を得て、実行することができました。どんなに疲れていても、毎朝目を輝かせて楽しみにやってくる子どもたちの笑顔を見ると、元気が出ました」と振り返る。

企画実施は、8月16日から19日。1年生から6年生までの小学生50人余を迎え、スタディータイム、流しそうめん大会、様々なスポーツなどで、有意義な4日間を過ごした。

「一度自分たちで決めたことを全力でやりとげることの大切さを今、感じています。『責任をもって動き、人を動かす』多くの学びがありました」と一同実感している。



経営情報学部



法政経学部



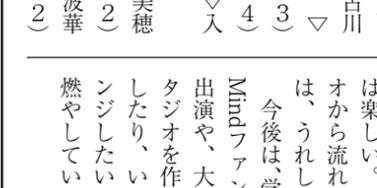
人間科学部



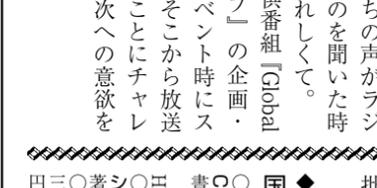
短期大学部



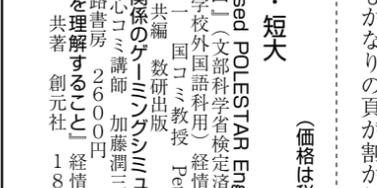
経営情報学部



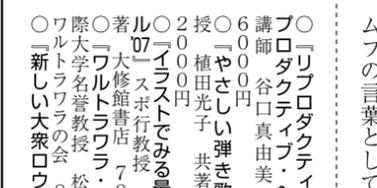
法政経学部



人間科学部



短期大学部



経営情報学部



法政経学部



人間科学部

ヘッドラインニュース

Table with 3 columns: Date, School Name, and News Content. Contains various news items from 2007 (平成19年) across different schools.



銀メダルを胸に喜びいっばいの部員たち

創部以来の最高成績 女子ソフト、全日本準優勝

8月24日から27日に開催された文部科学大臣杯第42回全日本女子ソフトボール選手権大会(京都府福知山市)で、女子ソフトボール部は、見事準優勝に輝いた。



岡本由香外野手

監督に久保田氏、輝く銅メダル 本由香外野手(人間科学部)の岡本由香選手が、4月に選ばれた第24回ユニバーシアード競技大会の日本代表メンバーに選出された。

喜びはひとしおだ。チームの4年生と久保田豊司監督が、9月7日、守口市を表敬訪問し準優勝を報告。全員に報奨のメダルが贈られた。

Table listing sports results for various teams including Softball, Volleyball, and Basketball, with dates and outcomes.

4日耐久レース(600cc)の部「Team OIU」2位▽時 藤司(法政経3)▽河喜多博(人健3)▽山下順也(政経OB)

新人戦Cブロック5位 高校総体団体戦予選リーグ優勝 女子 新人戦4ブロック3位



万博公園プラスエキスポの一曲マ 入っていただき、そこからい んなつながりが広がっています

クラブ活動 訪問

19年度の就職 最高の求人状況

「職業観醸成セミナー」「対話トレーニング」

超大型「就職に強い大学」めざす

平成19年度就職、採用戦線は、超売り手市場が到来する結果となり、求人倍率2.14とバブル期に次ぐ求人状況であった。本学においても、大学で1人あたり7.21件、短大で7.94件となり、過去最高の求人状況となった。しかしながら若干の



就職セミナーの様子。携帯電話のマナーについて真剣に耳を傾ける

や年長者とのコミュニケーションを図る「対話トレーニング」などを実施し、早期より働くことの意味、異年代の価値観を理解・共有することの出来る就職

今年も盛況！熱心！保護者懇談会

学科、就職説明や個人面談も

大学・短大で、今年度も9月に保護者懇談会が開催された。就職説明会や、教務、留学、就職、学生生活全般などについての個別相談で、大学での学生たちの様子やサポート体制を知っていただき、保護者に毎年好評を得ている。

守口キャンパスでは、9月16日に行われた。大学人間科学部・国際コミュニケーション学部は、2部構成で行われ、第1部の就職説明会には127人、第2部の学科別教育懇談会には122人の保護者が参加。うち80人が個人面談

も希望され、セミナー担当教員と個別に様々な話をされた。



1人1人の相談に親身に対応する個別相談（校方キャンパス）

支援を行っている。また、今年度より株式会社関西西雇用創出機構と業務委託契約を結び、専門カウンセラーの派遣、各種行事の運営を充実させる

など、本学の方針のひとつである「就職に強い大学」となるべく新たな取り組みを行った。（大学・短大キャリアセンター 係長 吉川 浩美）

ビジネスに求められる「品格」と「こころ」

新学部・学科開設記念 国際シンポジウム



日本の企業のあるべき姿を語り合ったパネルディスカッション

な気配りと面倒見の良さにとっても感謝しています」「学生が授業に参加している様子や施設見

学もあればありがたい」など、様々なご意見ご感想が寄せられました。

課外活動奨励者表彰

平成19年度前期

【守口キャンパス】

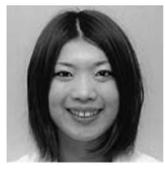
- 清水亜美（国コミ3）（第45回少
- 林寺拳法関西学生大会「単独演武女子二段以上の部」優良賞受賞
- ▽永田 僚（人健2）（同「単独演武男子段外の部」最優秀賞受賞
- 「自由組演武男子段外の部」優秀賞受賞▽若宮文嗣（国コミ2）（同「単独演武男子段外の部」敢闘賞受賞）▽山本啓太（国コミ2）（同「自由組演武男子段外の部」優秀賞受賞）▽梁瀬彩子（短大幼保2）（同「単独演武女子段外の部」優良賞受賞）

インターンシップ体験記

他大学生と交流、自信

研修先 (株)トリドール

大阪国際大学経営情報学部
3年次生 橋本 亜希子

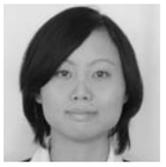


鳥、うどんなど、飲食店を展開されている「株式会社トリドール」でインターンシップをさせていただきました。神戸の三宮本社で行い、国際大学の学生と、他大学の学生（同志社、立命館、龍谷、奈良女子）と合同で行いました。

参加して気付いたことは、ディスカッションを行う際、私は今まで、「できるだけ多くのことを発言しよう」という考えでした。しかし、実際企業の方が見ているのは「話のポイントになる発言ができてくるか」ということ。

チームワークの大切さ

研修先 大津プリンスホテル
大阪国際大学人間科学部
国際コミュニケーション学科
3年次生



片山 尚子
今回、私はホテルでのインターンシップに参加し、仕事をすることにおいて、

て、いかにチームワークが大切かを学びました。

インターンシップに参加した動機は、社会がどんな場所か知りたかったことと、接客業のアルバイトをしており、接客が中心のホテルでの業務に興味があったからです。

2週間の研修中に、客室の清掃・ホテル内のプールの監視・

このお話を企業の方から聞いて、私の考えは間違いだったと気づかされました。この「気付く」ことが大切だと思いました。自ら行動して、自ら気づいたことは、忘れられない一生の糧になると思います。

参加する以前の私は、職業選択が漠然とした状況でしたが、参加して選択基準を絞ることができて、就職活動に対して、意欲も増しました。

就職活動に対して、疑問、不安を抱いている方、インターンシップは確実にあなた自身を変える体験になると思います。他大学の学生との交流を深める機会にもなり、そして何より「自信」がつけます。社会人になってしまつとインターンシップのような体験は二度とできません。

今だからこそできること、やってみませんか!?

この10年を振り返って...

E.ヘミングウェイではないが、「失われた10年」を社会人で過ごした我々の世代も「ロストジェネレーション」と呼ばれているのだそうだ。御多分に洩れず、僕の10年もいろいろあった。2度の転職の後、6年前から外国車ディーラーでセールスをしている。在学中の自動車通学が、今の僕の基礎となっていることは言うまでもない。だが、それ以上に増田英夫先生（2001年退職）から教わった数々のことながら、卒業後の僕の人生を迷わずに前に進めてくれた。入学早々、先生から学びたい一心でESSを創部した。世界の多様性と繋がりを、各国の歴史と文化を通して教えてくださった先生は、41歳の年齢差をこえて常に親しい先輩のように接してくれた。大学祭では、先生の指導のもと自分の考えを英語でスピーチした。そんな豊かな学生生活を過ごし、卒業の頃には国際的な視野を持ち続けて仕事をしていきたい、と自然に思うようになっていた。タイムラー AG社より、[メルセデスベンツ国際認定セールス]のライセンスを与えられたり、昨年ワールドカップに沸くドイツに招待されたりしたのも、あの頃の延長線上に用意されていたのだろう。今あらためて増田先生に心から感謝している。

OB・OGレポート

“微笑みの国”での学び

“How about in Japan, Fumiko?”と聞かれ、どう答えようか悩む。これが、私の毎日だ。大学時代、TAとしてタイの中部に1ヶ月派遣され、その後バンコク大International Collegeに交換留学、そして今またバンコクのど真ん中で、大学院生として英語教育学を学んでいる。

大学入学前は興味も薄かったのに、なぜか強い縁ができてしまった微笑みの国で、埋もれる程の文献を読み、幾つものペーパーに悩まされ、教授に微笑みかけられながら日本や日本語について質問される。18歳の頃には想像もしていなかったこの英語まみれの「未来」の中で感じることは、人は、線路があって行き先が分かっている電車に乗って生きていないということ。

一歩ずつ歩く長い道には、獣道や坂道があり、谷や壁があることもある。綺麗な花を見つけて、方向を変えることもある。これが人生であり、その道々で会う人に、見る景色に、何を思い学ぶかということ、道の歩き方・生き方が決まるのだということ。

私が偶然見つけた花は可能性を、出会った人々は目標を示してくれた。この広い世界の中、柔軟さを失わず、様々なものを見、様々な価値観に触れ、様々な「常識」を知って、自分の価値観を見出す。その為に私は今日も教授の微笑みに頭を抱えるのだ。



大阪国際大学 政経学部政経学科'96年卒
メルセデスベンツ国際認定セールス
森ノ宮
大井 隆弘



大阪国際大学 人間科学部国際コミュニケーション学科'07年卒
チュラロンコン大学大学院 英語教育学専攻
木村 文香

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学 大阪国際大学短期大学部 (枚方・守口)

12.21	年内終講(幼児保育1以外)
12.24	年内終講(幼児保育1)
平成20年	
1.10	後期再開
1.12	補講調整日 (幼児保育1)・19、26、2/2
1.22	授業・試験期間 (幼児保育以外)~28
1.28	後期終講(幼児保育以外)
1.28	授業・試験期間 (幼児保育)~2/1
1.29	補講・試験期間 (幼児保育以外)~2/6
2.1	後期終講(幼児保育)
2.4	補講・試験(幼児保育1)
2.4	補講・試験期間 (幼児保育2)~2/8
2.5	保育実習(幼児保育1)~3/29
2.22	追・再試験~26
3.17	卒業証書・学位授与式(枚方)
3.18	卒業証書・学位授与式(人間科学)
3.19	卒業証書・学位授与式(短大)

大阪国際滝井高等学校

12.17	保護者会~20(1.2年)
12.21	授業終了式
12.25	冬季休業開始
平成20年	
1.7	冬季休業終了
1.8	授業再開日、学年カルタ会
1.18	創立記念日
1.25	学年末考査~31(3年)
1.31	授業終了(3年)・マラソン大会(1.2年)
2.19	テーブルマナー(3年)
2.21	卒業式予行
2.22	卒業式
2.29	学年末考査~3/5
3.21	終業式
3.22	進路保護者会
3.25	春期休業開始

大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校

12.18	イングリッシュフェスティバル(中学)
12.19	スケート講習(中学)
12.22	終業式
平成20年	
1.8	始業式
1.18	創立記念日
1.31	3年授業終了(高校)
1.31	カルタ会(中学)
2.14	学年末試験(中学3)~18
2.23	新入生説明会
2.27	卒業式予行、送る会(中学)
2.28	卒業式予行(高校)
2.29	卒業式(高校)
3.1	卒業式(中学)
3.4	学年末考査(高校)~8、(中学1,2)~7
3.8	海外研修(中学3)~19
3.11	春期講習開始(高校)
3.11	スキー講習(中学)~15
3.19	終業式

大阪国際大和田幼稚園

12.21	終業式
平成20年	
1.8	始業式
1.18	創立記念日
2.23	生活発表会
2.29	H20年度 1日入園
3.3	個人懇談会~5
3.6	年長組お別れ会~7
3.15	保育修了証書授与式
3.24	終業式

今年の秋も 大学祭・文化祭 でのキャンパスも大にぎわい!!

国際大枚方キャンパス大学祭の今年のテーマは、「学生同士、学生と地域の方々などが親交を深めた縁の地」とするべく「縁~ゆかり~」とした。一方、守口キャンパスの優花祭のテーマは「Kaleidoscope~万華鏡~」。形も大きさも色も違う万華鏡の様に、一人一人が個性を生かしキラキラ輝けるようにという願いがこめられている。また、中学・高校でも、それぞれのテーマで文化祭が行われた。

11/2・3 大阪国際大学 枚方キャンパス 大学祭「縁~ゆかり~」



O.I.U
HA-NA-BI
SHOW2007

キャプテングロービージャンケンバトルで盛り上がる来場者

「売れ行きはどうですか?」実行委員が模擬店を突撃レポート

11/3・4 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部 守口キャンパス 優花祭「Kaleidoscope~万華鏡~」



守口・枚方合同企画 カラオケ歌合戦は、ハイレベルな戦いが繰り広げられた

チームワークで商品ゲットを目指す大縄大会

いらっしやいませ~
おいしい唐揚げボテはいかが?

9/22・23 大阪国際滝井高校 文化祭 「We are 滝井 family. Smile!Love!」



迫力のソーラン節

人探しゲームで景品をもらう来場者

9/16 大阪国際大和田高校 グローバル祭 「Everyone tries Everything ~みんなで協力しあおう Power of OWADA Festival~」



クラス展示

フォークソング部のステージに大きな拍手

9/16 大阪国際大和田中学校 文化祭 「We can make you smile.」



ブラスバンド部の演奏&寸劇

クラス劇

10/7 運動会 大阪国際大和田幼稚園

10月7日、大和田幼稚園の運動会が、大学守口キャンパスのグラウンドで開催された。この日のために、一生懸命練習してきた園児たちは、保護者たちからの声援を受けて、かけっこや玉入れ、パラバルーンや組立体操などさまざまなプログラムに、力いっぱい取り組んだ。



「こどもえびす」優秀賞に

8月、今宮戎神社「こどもえびす」に出品された、大和田幼稚園の園児全員による共同制作大絵画が、優秀につき賞を受賞した。

大和田幼稚園園児の共同制作の大絵画

今春、全大阪幼年美術展で奨励賞を受賞した幼稚園の中でも、選ばれた園が出品するもの。「バスでGO」と題し、人気の『D51』型幼稚園バスをモチーフに、年少から年長まで力をあわせた大作は8月2日から3日の今宮戎「こどもえびす」の間、正面に展示された。



みんなで力をあわせて、いっしょけんめいに描きあげました

ひと 大野 愛地さん

大阪国際大学国際コミュニケーション学部
1年次生・ダンス部

「夢で見た技を携帯でメモし、その日のうちに実践!」
世界制覇をめざすストリートダンサーAichi~

ヘッドスピンギネス記録保持者であるAichiこと大野愛地さんが、「ストリートダンス世界」の目標を引上げ、10月にドイツで行われたBattle of the year(BOTY)に出場。BOTYは、ストリートダンスでは世界最大の大会で、大野さん所属する日本代表「Turn Phrase Crew」は、決勝で韓国に僅差で敗れ、世界第2位となった。

「うれしくはない。日本予選、アジア予選を勝ち抜いて、チーム全員、優勝だけを目指してやってきました。またからスタートです」。

ブレイクダンスの技の中でも難易度が高いとされるヘッドスピンで、1分間に89回転でギネス認定世界記録を更新したのは、高校3年の9月。1年後の今年9月、中国で行われたギネス番組で101回転を達成し、自身の記録を大きく塗り替えた。

マスコミにたびたび登場。本学入学後も、「奇跡体験 アンビリバボー」「うたばん」など人気番組からひっぱりだこだが、本人は「正直、テレビでは失敗しなければいいが、イベントは勝たないといけない。テンションが全く違います」と冷静だ。確かに、テレビでの彼しか知らない人には、ぜひステージで踊るAichiをみてほしい。技を決めた瞬間の客席へのアピール、何より仲間と絡む彼の表情は、テレビのそれとは全く別物だ。

中学1年の時、兄が持っていたダンスレッスンのビデオを観て、ヘッドスピンに興味を持った。最初は、地道に手でこぎながら回り、5カ月後、手をはなして回れるようになった。「もうおもしろすぎて」それからは、ヘッドスピンにはまる毎日。

「親には、「ダンスの練習なんて言って、友達と遊んでるんやろ」と言われた。むかついたから練習しまくって上達もし、テレビやイベントにも出るようになった。そのうち、家族も理解してくれるようになったんです」。

今では、ダンスを通じて世界を飛び回っている。ダンスをしなければありえなかった出会いや経験が、彼をさらに大きくし、応援してくれる周囲への感謝の気持ちも強くなっていることが、本人のブログにも綴られている。

調子は日によって波がある。バランスがとれずに足がついてしまう時もある。そんな時はひたすら集中して練習だ。

「最初は、自分にヘッドスピンなんてできるとは思っていなかったのに、やり続けていたらできた。練習したらなんでもできる、と思えるようになった」。

「調子のいい時には、誰も見た事もないような技、今までできなかった技をしている自分を夢で見る。目覚めた瞬間、それを携帯でメモる。そしてその日のうちに練習します」。

「すぐにメモをとる」そして「あきらめずに実行する」これは、大成した経営者や学者たちがとってきた方法だが、彼はそんなことは知らずに実践してきたという。

「夢の中では、起きている時の視点とは違う。客席から自分の演技を見ていたりするので、普段見られない、自分のダンスが見られる。ああ、人からはこう見えているんやって。それで、細かく、指の形や、何週目から右足をもつ、その持ち方、何からなまでに完璧にメモをするんです」。

「ヘッドスピンにはまった最初の理由は、風景がおもしろかったから」という大野さん。世界一の高速度で回っている間、彼は何を見ているのか?

「すべてが逆さまになり、いろんな色の光がすべて線になって自分のまわりにある、その風景は：あーもうそれは、回ってみたいとわからない!!」



ダンス部のメンバーと。手前が大野さん

本紙に記載の学年、肩書き等はすべて情報収集時のもので、発行時期と異なることがあります。ご了承願います。

・郵送不要の方、住所等の変更、本紙に関するご意見、ご感想等は企画広報課までご連絡下さい。電子メールもご利用下さい。